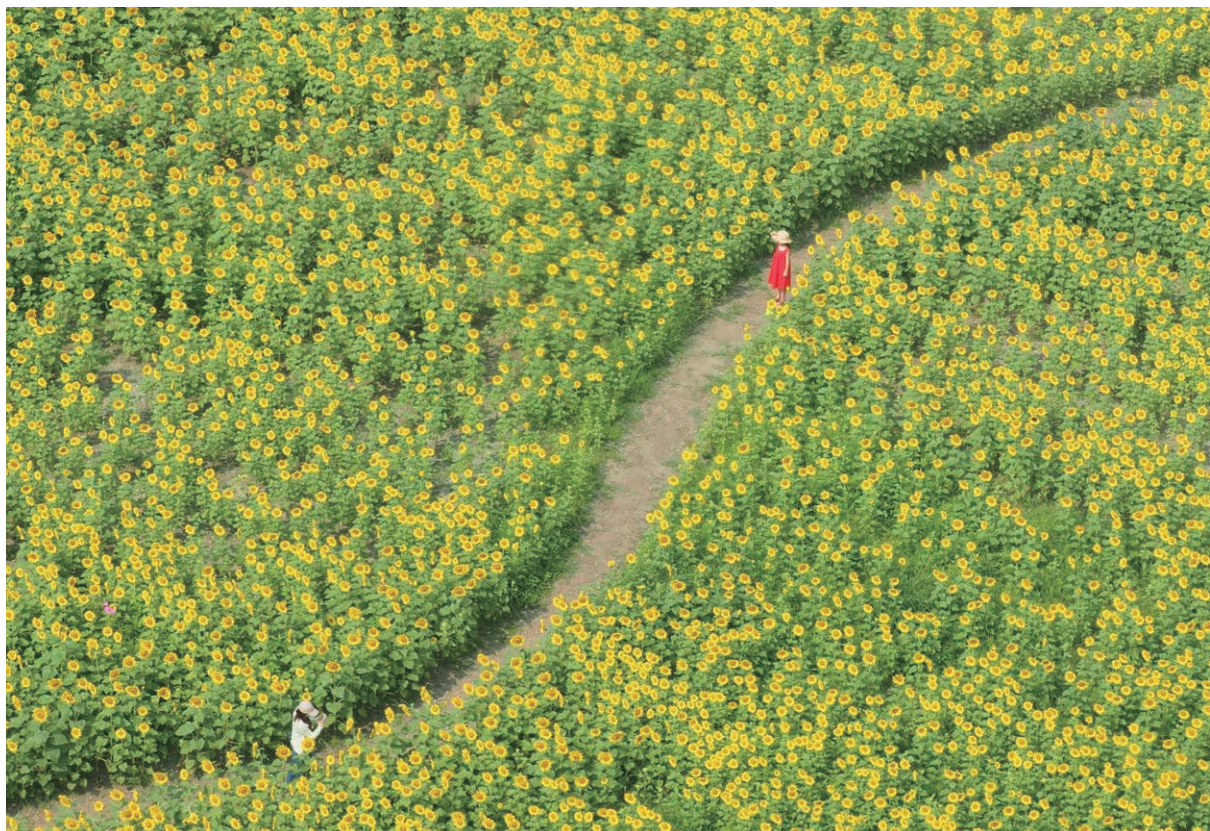


静岡県

土地改良



第7回 静岡県農村の魅力フォトコンテスト 入選作品（浜松市西区村櫛）

- 令和4年度 第1回 理事会 1
- 令和4年度 第1回 監事会 2
- 令和4年度 新人、若手職員研修会 2
- 令和4年度 土地改良区等職員研修会 3
- 農業農村整備の集い 4
- 未来へつなごう！ふるさとの水土里子ども絵画展 6
- 第8回 静岡県農村の魅力フォトコンテスト 6
- 第44回 全国土地改良大会（沖縄大会） 7



みどり
水土里ネット 静岡
静岡県土地改良事業団体連合会

令和 4 年度 第 1 回 理事会



令和 4 年 6 月 29 日（水）、静岡市産学交流センター（静岡市）において、「令和 4 年度 第 1 回 理事会」を開催しました。

伊東会長をはじめ、池田副会長、大石副会長、理事 9 名、総括監事 1 名、監事 1 名、参与 5 名の出席をいただきました。

開会の挨拶の中で、伊東会長は例年より早い梅雨明けによる水不足と、不安定な情勢による世界規模の飼料・燃料の価格高騰などを挙げ、「基盤整備の重要性、食料安全保障への意識がより高まっている。輸入頼りではなく、少しでも生産拡大をし地産地消をして流通コストを極力抑えることが大事である。これからの農業継承者ために、今の私たちが責任を果たす必要がある」と語りました。

引き続き伊東会長を議長とし、「令和 3 年度事業報告及び収支決算並びに財務諸表、財産目録について」をはじめとする全 6 議案が上程され、全て原案通り可決しました。

｜ 理事会議案 ｜

第 1 号	令和 3 年度事業報告及び収支決算並びに財務諸表、財産目録について
第 2 号	令和 3 年度資金運用の経過及び結果報告について
第 3 号	土地改良施設維持管理適正化資金拠出約款の一部改正について
第 4 号	土地改良施設維持管理適正化事業事務処理細則の一部改正について
第 5 号	令和 4 年度臨時総会招集について
第 6 号	令和 4 年度臨時総会提出議案について

令和 4 年度 第 1 回 監事会



令和 4 年 6 月 9 日（木）、本会会議室において、「令和 4 年度 第 1 回 監事会」を開催しました。

今回は「令和 4 年度監査計画について」を含む全 3 議案についてを報告し、運営を円滑かつ適正に行うための確認と検討がなされました。

｜ 監事会議案 ｜

第 1 号	令和 4 年度監査計画について
第 2 号	令和 3 年度決算監査について
第 3 号	令和 3 年度決算監査の報告について

令和 4 年度 新人、若手職員研修会



令和 4 年 4 月 22 日（金）、本会会議室において、「令和 4 年度 新人、若手職員研修会」を開催しました。この研修会は県内の市町・土地改良区の新人職員等を対象として開催され、今回はオンライン受講を含めて 10 名の参加がありました。

講師には、アール人材開発合資会社の旗持玲子氏を招き、社会人の心構え、コミュニケーションの大切さ、社会人生活を送るための基本的な考え方について講義していただきました。



令和 4 年度 土地改良区等職員研修会



令和 4 年 6 月 30 日（木）、静岡県産業経済会館（静岡市）において、「土地改良区等職員研修会」を開催しました。今回の研修会には、複式簿記を導入する土地改良区職員等、37 名の参加がありました。

研修会前半では、税理士の佐藤大地氏による、土地改良区の複式簿記会計に係る基礎講義が行われました。後半には、名古屋国税局による「インボイス制度等について」と、日本政策金融公庫と静岡県経済産業部農業局による「農業基盤整備資金の借入に関する諸手続きについて」の説明の場が設けられました。

カリキュラム

1 土地改良区の複式簿記会計について

- 土地改良区の財務諸表の体系
- 期首～期末(決算)までの会計処理の流れ
- 取引事例に基づいた仕訳処理
- 監査におけるチェックポイント

佐藤大地 税理士

2 インボイス制度等について

- e-Taxの概要
- インボイス制度の概要
- 電子帳簿保存法の改正

名古屋国税局
調査部調査開発課

3 農業基盤整備資金の借入に関する諸手続きについて

日本政策金融公庫
静岡支店
静岡県経済産業部農業局
農業ビジネス課

複式簿記会計導入等相談窓口

土地改良区の複式簿記会計等の導入にあたり、会計の専門家（税理士）と連携して相談窓口を設置しています。会計等のご相談は以下の窓口までお願いします。

【相談・お問い合わせ先】 静岡県土地改良事業団体連合会 会員支援課

☎ 054-255-5151 ✉ kaiin@sizdoren.jp

農業農村整備の集い



令和 4 年 6 月 14 日（火）、砂防会館別館
シェーンバッハ・サボー（東京都）において、
「農業農村整備の集い」が開催されました。

本会は、全国の農業農村整備に携わる関係者が一堂に会して、現場で直面している喫緊の課題を共有・再認識し、諸課題に緊急に対応すべく、農業農村整備事業の一層の充実と推進を期することを目的に開催されています。今回は通常開催となり、全国の土地改良関係者と多数の国会議員、合わせて約 900 名が参集しました。

開会にあたり、全国土地改良事業団体連合会会長の二階俊博氏は、挨拶の中で食料安全保障の強化と農林水産業の持続可能な成長のため、土地改良により農地の大区画化・汎用化などを推進していくことが「骨太の方針」に明記されたことを述べ、「この政策目標を実現するためにも土地改良予算の確保に向けて闘っていかねばならない」と強く訴えました。

続いて、農林水産大臣の金子原二郎氏、自民党の TPP・日 EU・日米 T A G 等経済協定対策本部長の森山裕氏から祝辞があり、農業・農村が今置かれている状況を鑑み、農業農村事業の着実な推進と予算の確保への尽力を語りました。



その後、要請案文を今年の全国土地改良大会開催主催である、沖縄県土地改良事業団体連合会会長の古謝景春氏が読み上げ、全会一致で採択されました。

来賓紹介後、都道府県水土里ネット会長会議顧問の進藤金日子氏から情勢報告がされました。食料安全保障の強化・確立のためにも、農地と水の機能を高めていくことがポイントであると語り、「土地改良予算を安定的に確保しなければ、国の将来が見えてこない」と強く訴えました。

参加者一堂によるガンバロウ三唱で閉会した後、各都道府県、水土里ネットの代表者が政府、国会議員などへ要請活動を行いました。

要 請 文

- 一 食料自給力の維持・向上を通じて食料安全保障に寄与する土地改良事業の計画的・安定的な推進のため、必要な予算を安定的に確保すること。
- 二 大規模災害からの復旧・復興や再度災害防止の取組を早急に進めること。また、災害対応のデジタル化、事務手続きの更なる簡素化を図ること。
- 三 農業の競争力強化のため、農地の集積・集約化、米から高収益作物への転換、スマート農業の導入を促す農地整備を引き続き推進すること。
- 四 農村地域の国土強靱化のため、老朽化した農業水利施設の更新・長寿命化や、豪雨・地震対策等を引き続き推進すること。
- 五 ICT、AI等の先進技術を活用して、土地改良施設管理の省力化、高度化を図るとともに、情報通信技術を扱う土地改良技術者等の人材育成を図ること。
- 六 主として中小規模の土地改良区を対象として合併等を推進するとともに、土地改良区における複式簿記の定着・活用、燃料価格や農事用電力料金の急激な高騰への対応など、運営基盤強化に対する支援を推進すること。
- 七 流域治水の取組推進に当たっては、関係する農業水利施設の管理者や田んぼダムに取り組む農業者に過度な負担や責任が生じないよう配慮すること。
- 八 水田活用の直接支払交付金の見直しにおいて、土地改良に与える影響を踏まえ、必要な措置を講ずること。
- 九 上記事項の推進に当たり、水土里ネットが有する技術、経験などを十分発揮できるよう配慮すること。

令和4年6月14日

全国土地改良事業団体連合会
都道府県土地改良事業団体連合会

\\ 未来へつなごう！ //

ふるさとの水土里 子ども絵画展

作品募集中！

子ども達に、農業・農村の豊かな自然や風景、
大切な水路を守っている人たちの姿を見つめ
て心に残してほしいと思います。

応募資格 小学生以下

午前必着！

応募期間 8月1日(月)～9月8日(木)

応募規定や応募方法などの詳細については、
本会または全国水土里ネットの
Web サイトをご覧ください



テーマ

私がみつけた！

農村のふれあい・心あたたまるとき

応募方法



一般部門

過去3年以内の写真OK！

デジタルカメラ等で撮影したデジタルデータを
メールまたはCD-R等で郵送して応募

※フィルムカメラで撮影し、デジタルデータ化したものも可



SNS部門

公式 facebook に写真を投稿して
応募、もしくは instagram にて、

「#第8回静岡農村フォト」で応募



facebook



instagram

※投稿は写真のみ、動画は不可

応募
メ切

2023

1 / 6

金

[一般部門については当日消印有効]

Web
サイト



静岡県農地保全課

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-460/photocon-7.html>

詳しくは
Webサイトをチェック！

第8回

静岡県

農村の魅力
フォトコンテスト

アマ・プロ
問わず！



令和 4 年 11 月 22 日（火）、第 44 回 全国土地改良大会（沖縄大会）が、沖縄県沖縄市の「沖縄アリーナ」をメイン会場に開催されます。

この大会は、新たな農業・農村の展開方向に即して、農業農村整備の重要性と、それを下支えする「水土里ネット」の役割を再認識し、土地改良関係者の意識の高揚と、本国の農業・農村の更なる発展を目的として開催されます。



水土里ネット静岡

（静岡県土地改良事業団体連合会）
<http://www.sizdoren.jp>

■ 本 部 （ 事務局、総務経理課、会員支援課、事業支援課 ）

〒420-8601 静岡市葵区追手町 9 番 6 号
TEL : (054)255-5151 / FAX : (054)221-3581
E-mail : 総務経理課 soumu@sizdoren.jp
会員支援課 kaiin@sizdoren.jp
事業支援課 （事業・水土里）jigyo@sizdoren.jp
（換地）kanchi@sizdoren.jp

■ 東部事業所

〒410-0055 沼津市高島本町 1-3
TEL : (055)920-2269 / FAX : (055)920-2192
E-mail : toubu@sizdoren.jp

■ 中部事業所

〒422-8031 静岡市駿河区有明町 2-20
TEL : (054)286-9273 / FAX : (054)286-9274
E-mail : shisetsu@sizdoren.jp

■ 西部事業所

〒438-0086 磐田市見付 3599-4
TEL : (0538)37-2316 / FAX : (0538)37-2403
E-mail : seibu@sizdoren.jp